

県仏会報



茨城佛教

第44号

発行
茨城県仏教会
会長 岸野教司



浄土宗 寿亀山天樹院弘経寺（常総市）

平素より県内各宗派各ご寺院様に於かれましては、茨城県仏教会に深いご理解とご支援を賜り、衷心より厚く御礼を申し上げます。また本誌協賛各社の益々の御隆昌大慶に存じ上げます。

顧みますれば茨城県仏教会は約五十五年の歴史を有し、県内には千三ヶ寺の寺院が加盟され、在り九百ヶ寺がこれに加盟され、諸大徳先輩方が連綿と紡ぎ繋いで継承して来て頂きましたことに心より敬意を表するところでございます。

さてこの度、茨城県仏教会を前進して発展させて頂きました日蓮宗様より当会運営の会長職及び事務局を眞言宗智山派がお受け致してから、任期である二期四年を全うさせて頂くと、ろまで参りまして、会長・事務局一同安堵の思いでございます。

これ偏に各宗派を代表して県役員職者として名を連ねて頂いており、各宗派の教区長、所長、支所長、組長、各宗派からご推薦頂いた理事の方々の絶大な御力添えの御陰であります。深く御礼を申し上げます。また当会の教義・教学が各宗派それぞれに重なり、垣根を超えお互いの立場を尊重し、協力し合い、お互いの立場を重んじて、あつても工夫を凝らして様々

な研鑽を重ねて来られたことを有難く思います。

今、現代社会において「宗教離れ」とか「お寺離れ」とか「言葉をよく耳にしますが、一般の方々は宗教に何を求め、どの様な見方・評価をしているのか、客観的に知ることが大切で、地域に根差した寺院活動を行ってきた我々教師は今まさに多様な化する社会情勢を鑑み、今後予想される新たな社会問題に對策を講じながら創意工夫を凝らし「宗教離れ」「お寺離れ」に果敢に挑むことの大切さと現代仏教の役割を考えるに、人の悩みに寄り添い必要とされる僧侶（教師）としての寺院活動が重要であるかと思えます。今こそ、さまざまな当会の理想とする組織形態の中で、共通認識の下に更なる研鑽を重ねて行く必要があるかと考えます。

最後になりましたが、県内各宗派ご寺院様に於かれましては、これからの地域の寺として、存在が燦然と輝き放つて行くと、たく念願致します。共に、今後とも茨城県仏教会のお力添えを賜りますようお願いいたします。ご挨拶とさせていただきます。

合掌



会長挨拶

茨城県仏教会 会長
徳蔵寺 岸野教司

県仏活動報告

能登半島地震における支援について

茨城県仏教会は、能登半島地震によって被災された方を支援するため、令和六年二月一日に全日本仏教会を通して救援支援金十万円を寄付いたしました。被災地の一日でも早い復興を心より祈念いたします。

令和五年度 茨城県仏教会研修会

広報委員
真言宗智山派 文殊院 黒澤 彰彦

十月三日ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸において、茨城県仏教会主催の研修会が開催され、県内の各宗派から三十一名の教師が参加した。

講師に元筑波町長（現つくば市）・元つくば市教育長の井坂敦夫氏をお迎えし「筑波山の歴史と信仰」をテーマにお話しいただいた。



井坂先生は東北大学大学院で哲学を学び、茨城大学で講師をされ、その後町の遺跡保存運動に取り組んだことがきっかけで旧筑波町長になられた異色の経歴をお持ちの方である。近年では『万葉集の筑波山』を刊行されており、筑波山研究に造詣の深い先生である。

講演では初めに、もともと日本人にとつての神様は稲の神様であり、その神様を今なおお祀りしているのは筑波山神社が唯一の神社であることから、いかに筑波山信仰が重要であるかを説かれた。

また、男体山・女体山・安座常社・子原木社・渡神社・稲村神社と、筑波山には六所神社があるが、その社名に注目すると、神の交合受胎から出産までの経路を神社として祀ったものであり、古い時代から今日に至るまで継承されていることをお話しいただいた。

講演後は質疑応答の時間が設けられ、時間に限りがあるなか沢山の質問が飛び交った。

筑波山は茨城を象徴する山であるが、その歴史や信仰について深く知ることができる貴重な時間となった。

茨城県仏教会「シャララ・サンガ」

第六回 懇談会・懇親会 活動報告
組織渉外委員 天台宗 川井 融翠

令和五年十一月七日に茨城県仏教会主催のもと、女性僧侶と県仏教会役員による六回目の懇談会および懇親会が行われました。会場は昨年と同じく水戸京成百貨店バンケットルームで、参加人数は県仏教会より十四名、会員より三名でした。シャララ・サンガは茨城県仏教会により支援発足しました茨城県の女性僧侶資格者のための会ですが、今回は真言宗智山派様が事務局として最後の会になります。来年からは真言宗豊山派様になることから、現事務局の計らいにより時期事務局の方をお呼びいただいて、シャララ・サンガという取り組みがあることを事前に知っていたたく機会となりました。

懇談会では今後具体的に女性僧侶だけの活動を増やしていく件について協議をしました。勉強会、研修を兼ねた旅行、食事会などの案の中から、お互いの寺院に何うという形での勉強会をまずは自坊で行わせていただくことになりました。女性同士で気軽に質問が飛び交うそんな会になればいいなと思っております。

新型コロナウイルスの流行でこれまで出来な

かった懇親会では景山の中華料理をいただきつつ、話したい方と各各交流する機会となりました。私としてはあらかじめ次年度の事務局の方々とお話しできたことは幸いでした。また真言宗智山派の事務局の皆様には四年間大変お世話になり感謝の念が堪えません。

今後は参加人数をとにかく増やしていくことが課題です。すこしずつ活動の機会を増やしていくつもりですので、ご指導・ご協力をお願い申し上げます。

合掌



令和4年度事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

| 期日 | 事業内容 | 開催地 | 参加者 |
|--------|--------------------------------------|----------------------------|------|
| 4月6日 | 監査・令和4年度総会資料検証 | ホテルウエストヒルズ水戸 | 13名 |
| 4月12日 | 県仏教会総会 | ホテルウエストヒルズ水戸 | 27名 |
| 4月 | 茨城県刑務所出所者等就労支援事業協議会 | 水戸生涯学習センター | 延期 |
| 4月21日 | 県宗教連盟理事会・評議員会 | 茨城県神社庁 | 8名 |
| 7月25日 | 第1回広報委員会(茨城佛教43号の件)・理事会 | ホテルレイクビュー水戸 | 26名 |
| 7月 | 茨城県宗教連盟理事会 | 茨城県神社庁 | 延期 |
| 8月25日 | 茨城県戦没者慰霊式典 | ザ・ヒロサワ・シティ会館 (県民文化センター) | 案内のみ |
| 8月30日 | 第2回広報委員会 | 観音寺(石岡市) | 4名 |
| 9月 | 令和4年度第1回関東甲信越静地区 宗教法人実務研修会(文化庁主催) | 県庁 総務課法制担当 029-301-2239 | 延期 |
| 10月7日 | 研修会「家族面接の基礎知識」 高野 光弘 先生(僧侶・臨床心理士) | ホテルウエストヒルズ水戸 | 46名 |
| 10月18日 | 茨城県宗教連盟設立75周年記念大会 | ホテルウエストヒルズ水戸 | 10名 |
| 11月10日 | シャララ・サンガ懇談会 | 水戸京成百貨店9F | 13名 |
| 11月16日 | 令和4年度第2回関東甲信越静地区 宗教法人実務研修会(文化庁主催) | つくば国際会議場 | 1名 |
| 12月15日 | 第3回広報委員会・役職者会議 | 石岡プラザホテル | 13名 |
| 1月12日 | 第4回広報委員会(最終校正)・理事会 | ホテルレイクビュー水戸 | 25名 |
| 2月1日 | 全仏新年懇親会 | ホテルグランヴィア京都 | 1名 |
| 2月16日 | 各宗派布教師会会長・仏教青年会会長等合同懇談会 | ホテルレイクビュー水戸 | 30名 |
| 2月27日 | 第5回広報委員会(茨城佛教43号発送) | 妙雲寺(水戸市) | 3名 |
| 3月8日 | 県宗教連盟理事会 | 茨城県神社庁 | 1名 |
| 3月16日 | 全日本仏教懇話会・懇談会 | ザ・キャピタルホテル東急(東京) | 欠席 |
| 3月27日 | 第10回宗派代議員・都道府県仏教会代議員会議 | web会議 | |

令和5年度事業計画(報告を含む)

(令和5年4月1日～令和6年4月3日) 令和6年2月1日現在

| 期日 | 事業内容 | 開催地 | 参加者 |
|--------|--|----------------------------|-----|
| 4月3日 | 監査・令和5年度総会資料検証 | ホテルウエストヒルズ水戸 | 12名 |
| 4月13日 | 県宗教連盟理事会・評議員会 | 茨城県神社庁 | 7名 |
| 4月14日 | 県仏教会総会 | ホテルウエストヒルズ水戸 | 30名 |
| 4月 | 茨城県刑務所出所者等就労支援事業協議会 | 水戸生涯学習センター | 延期 |
| 7月20日 | 第1回広報委員会(茨城佛教44号の件)・理事会 | ホテルレイクビュー水戸 | 24名 |
| 7月 | 茨城県宗教連盟理事会 | 茨城県神社庁 | 延期 |
| 8月25日 | 茨城県戦没者慰霊式典 | ザ・ヒロサワ・シティ会館 (県民文化センター) | 1名 |
| 9月8日 | 第2回広報委員会 | 観音寺 | 3名 |
| 9月11日 | 令和5年度第1回関東甲信越静地区(埼玉県) 宗教法人実務研修会(文化庁主催) | 県庁 総務課法制担当 029-301-2239 | 0名 |
| 10月3日 | 研修会「筑波山の歴史と信仰」 井坂 敦実 先生(元つくば市教育委員会教育長) | ホテルウエストヒルズ水戸 | 31名 |
| 10月20日 | 茨城県宗教連盟研修会「宗教法人と税」 河村 照圓 先生(阿弥陀院住職、税理士) | 茨城県神社庁 | 8名 |
| 11月7日 | シャララ・サンガ懇談会 | 水戸京成百貨店9F | 17名 |
| 11月7日 | 令和5年度第2回関東甲信越静地区(長野県) 宗教法人実務研修会(文化庁主催) | 県庁 総務課法制担当 029-301-2239 | 0名 |
| 12月11日 | 第3回広報委員会・役職者会議 | 石岡プラザホテル | 20名 |
| 1月19日 | 第4回広報委員会(最終校正)・理事会 | 水戸京成百貨店9F | 30名 |
| 2月1日 | 全仏年頭のつどい懇親会 能登半島地震の被災地へ救援支援金の寄付(寄託先:全日本仏教会) | ホテルグランヴィア京都 | 1名 |
| 2月6日 | 各宗派布教師会会長・仏教青年会会長等合同懇談会 | ホテルレイクビュー水戸 | |
| 3月6日 | 県宗教連盟理事会 | 茨城県神社庁 | |
| 3月 | 第5回広報委員会(茨城佛教44号発送) | | |
| 3月 | 第11回宗派代議員・都道府県仏教会代議員会議 | | |
| 3月 | 全日本仏教懇話会・懇談会 | | |
| 3月28日 | 監査・令和6年度総会資料検証・役職者等引継ぎ | ホテルウエストヒルズ水戸 | |
| 4月3日 | 県仏教会総会(令和6年度) | ホテルウエストヒルズ水戸 | |

茨城県仏教会 役職員名簿

令和 6 年 1 月現在

| 役職名 | 氏名 | 住所 | 宗派 | 寺院名 |
|--------|-------|-------------|-----------|------|
| 会長 | 岸野教司 | 城里町徳蔵 | 真言宗 智山派 | 徳蔵寺 |
| 副会長 | 黒澤彰哉 | かすみがうら市下志筑 | 真言宗 智山派 | 文殊院 |
| 副会長 | 徳永光由 | 水戸市城東 | 日蓮宗 | 妙道教会 |
| 副会長 | 奥田俊裕 | 水戸市元山町 | 時宗 | 神応寺 |
| 顧問 | 中村純崇 | 水戸市元吉田町 | 天台宗 | 薬王院 |
| 顧問 | 松本一浩 | 稲敷市西代 | 浄土宗 | 調法寺 |
| 顧問 | 鈴木堯将 | 石岡市貝地 | 日蓮宗 | 平等寺 |
| 監事 | 永徳眞隆 | 常陸大宮市上岩瀬 | 浄土宗 | 誕生寺 |
| 監事 | 山崎孝裕 | つくばみらい市城中 | 曹洞宗 | 瑞源寺 |
| 事務局長 | 倉持達哉 | 坂東市長谷 | 真言宗 智山派 | 長谷寺 |
| 事務局次長 | 日下光生 | 常総市菅生町 | 真言宗 智山派 | 無量寺 |
| 会計 | 小暮敦守 | 常陸大宮市上檜沢 | 真言宗 智山派 | 満福寺 |
| 総務部長 | 長谷川玄應 | 日立市西成沢町 | 日蓮宗 | 宝塔寺 |
| 総務主事 | 木内良尊 | 常陸太田市上利員町 | 真言宗 智山派 | 鏡徳寺 |
| 教化部長 | 安西仁人 | 常陸太田市上宮河内町 | 浄土宗 | 菊蓮寺 |
| 教化主事 | 中西良健 | 鹿嶋市浜津賀 | 真言宗 智山派 | 慈眼寺 |
| 広報部長 | 綿引海淳 | 水戸市見川 | 日蓮宗 | 妙雲寺 |
| 広報主事 | 矢口阿照 | 石岡市下林 | 真言宗 智山派 | 観音寺 |
| 広報委員 | 黒澤彰彦 | かすみがうら市下志筑 | 真言宗 智山派 | 文殊院 |
| 広報委員 | 佐竹行信 | 常陸太田市久米町 | 浄土真宗 本願寺派 | 正念寺 |
| 組織渉外部長 | 瀬浪純圓 | 水戸市見川（護國寺内） | 天台宗 | 不動院 |
| 組織渉外主事 | 大曾根良博 | 鹿嶋市宮中 | 真言宗 智山派 | 護国院 |
| 組織渉外委員 | 小林咲慧 | 古河市旭町 | 日蓮宗 | 四恩寺 |
| 組織渉外委員 | 川井融翠 | 水戸市大場町 | 天台宗 | 東光寺 |

理事名簿

令和 6 年 1 月現在

| 役職名 | 氏名 | 住所 | 宗派 | 寺院名 |
|-----|------|-------------|-----------|-----|
| 理事 | 大川隆弘 | 行方市根小屋 | 真言宗 豊山派 | 龍翔寺 |
| 理事 | 廣瀬隆晶 | 石岡市東成井 | 真言宗 豊山派 | 廣福院 |
| 理事 | 伊藤善典 | 坂東市馬立 | 真言宗 智山派 | 自性院 |
| 理事 | 内山晴隆 | 那珂市戸 | 真言宗 智山派 | 文殊院 |
| 理事 | 伊東寂円 | 龍ヶ崎市半田町 | 天台宗 | 満願寺 |
| 理事 | 瀬浪純圓 | 水戸市見川（護國寺内） | 天台宗 | 不動院 |
| 理事 | 出村尚英 | 大子町袋田 | 曹洞宗 | 龍泰院 |
| 理事 | 染谷典秀 | 古河市磯部 | 曹洞宗 | 安禅寺 |
| 理事 | 横川貴教 | 猿島郡境町 | 日蓮宗 | 実台寺 |
| 理事 | 古渡乗裕 | 牛久市牛久町 | 日蓮宗 | 観成院 |
| 理事 | 安西仁人 | 常陸太田市上宮河内町 | 浄土宗 | 菊蓮寺 |
| 理事 | 奥野輝秀 | 水戸市上水戸 | 浄土宗 | 光台寺 |
| 理事 | 佐竹知信 | 常陸太田市久米町 | 浄土真宗 本願寺派 | 正念寺 |
| 理事 | 藤井学昭 | 那珂郡東海村石神外宿 | 真宗 大谷派 | 願船寺 |
| 理事 | 四倉亮峰 | 桜川市真壁町古城 | 時宗 | 常永寺 |

宗務機関 兼 評議員名簿

令和6年1月現在

| 宗務機関名 | 役職名 | 住 所 | 寺院名 | 氏 名 |
|---------------------|-----|-----------|-----|-------|
| 真言宗豊山派第1号宗務支所 | 支所長 | 常陸太田市岡田町 | 普門寺 | 大澤正敏 |
| 真言宗豊山派第2号宗務支所 | 支所長 | つくばみらい市板橋 | 不動院 | 下村清人 |
| 真言宗豊山派第3号宗務支所 | 支所長 | 古河市本町 | 尊勝院 | 尾上秀盛 |
| 真言宗豊山派第4号宗務支所 | 支所長 | 行方市根小屋 | 龍翔寺 | 大川隆弘 |
| 真言宗豊山派中部宗務支所 | 支所長 | 笠間市上郷 | 普賢院 | 村竹英昭 |
| 真言宗豊山派第5号宗務支所 | 支所長 | 古河市諸川 | 宝蔵寺 | 湯澤宥広 |
| 真言宗豊山派第6号宗務支所 | 支所長 | 石岡市東成井 | 廣福院 | 廣瀬隆晶 |
| 真言宗智山派茨城第1教区宗務所 | 教区長 | 坂東市馬立 | 自性院 | 伊藤善典 |
| 真言宗智山派茨城第2教区宗務所 | 教区長 | 鹿嶋市浜津賀 | 慈眼寺 | 中西良健 |
| 新義真言宗茨城教区宗務所 | 教区長 | 土浦市藤沢 | 神宮寺 | 森川晃岳 |
| 天台宗茨城教区宗務所 | 所 長 | 笠間市押辺 | 宗務所 | 中村純亮 |
| 曹洞宗茨城県宗務所 | 所 長 | つくばみらい市城中 | 瑞源寺 | 山崎孝裕 |
| 臨済宗妙心寺派東京教区第6部宗務支所 | 支所長 | 取手市下高井 | 高源寺 | 菅井一磨 |
| 臨済宗妙心寺派東京教区第10部宗務支所 | 支所長 | 笠間市石井 | 高乾院 | 田中功道 |
| 臨済宗建長寺派茨城県宗務支所 | 支所長 | 土浦市小野 | 向上庵 | 三ツ井宗司 |
| 日蓮宗茨城県宗務所 | 所 長 | 筑西市甲 | 星宮寺 | 相田要練 |
| 浄土宗茨城教区教務所 | 教区長 | 常総市豊岡町乙 | 安養寺 | 吉水成正 |
| 浄土真宗本願寺派東京教区茨城東組 | 組 長 | 常陸太田市久米町 | 正念寺 | 佐竹知信 |
| 浄土真宗本願寺派東京教区茨城西組 | 組 長 | 常総市蔵持 | 願牛寺 | 稲葉眞弘 |
| 真宗大谷派東京教区茨城一組 | 組 長 | 猿島郡境町一ノ谷 | 妙安寺 | 中村好 |
| 真宗大谷派東京教区茨城二組 | 組 長 | 鉾田市鹿田 | 稱念寺 | 延方量昭 |
| 時宗茨城県第8教区宗務支所 | 教区長 | つくば市洞下 | 西光寺 | 小笠原仁乗 |
| 時宗茨城県第9教区宗務支所 | 教区長 | 常陸太田市塙町 | 浄光寺 | 古川伸生 |

茨城県宗教連盟 出向役員

(令和5年4月～令和7年3月)

| | 役 職 | 氏 名 | 宗 派 | 寺 院 名 |
|---|-------|-------|--------|-------|
| 1 | 理 事 長 | 岸野教司 | 真言宗智山派 | 徳蔵寺 |
| 2 | 理 事 | 倉持達哉 | 真言宗智山派 | 長谷寺 |
| 3 | 評 議 員 | 永徳眞隆 | 浄土宗 | 誕生寺 |
| 4 | 評 議 員 | 黒澤彰哉 | 真言宗智山派 | 文殊院 |
| 5 | 評 議 員 | 徳永光由 | 日蓮宗 | 妙道教会 |
| 6 | 評 議 員 | 奥田俊裕 | 時宗 | 神応寺 |
| 7 | 評 議 員 | 長谷川玄應 | 日蓮宗 | 宝塔寺 |
| 8 | 評 議 員 | 安西仁人 | 浄土宗 | 菊蓮寺 |

各宗転法

「遊行のお砂持ち」に随喜して

時宗茨城教区青年会 庶務

神應寺 奥田 裕幸

令和五年五月十四日、遊行七十五代一浄上人の登位に伴い、氣比神宮（現、福井県敦賀市）に於いて「お砂持ち」が十八年の時を経て厳修されました。

時宗では代々の遊行上人が法燈を相続した際に「お砂持ち」の神事が行われます。それは、正安三年（一三〇一）遊行二祖他阿真教上人が氣比神宮に参詣した折、沼地により参道ができずにいたことを知り、土砂の運搬具である「もっこ」を自ら担ぎ、海辺から砂を運ばれたことにはじまります。真教上人に続いて時衆の僧尼等をはじめ神職や近隣諸国で結縁した人びとも総出で大勢集まり砂を運び、道路はさながら市場のような賑わいになったといえます。このように見事に参道を整備した真教上人の威徳を讃え、世にこれを「遊行のお砂持ち」と伝えられたといえます。かの松尾芭蕉は宿屋の亭主からこの故事を聞き、「月清し 遊行のもてる 砂の上」と詠んでいます。

この度、時宗青年会の全面協力のもと

と富田教王会長をはじめ茨城教区青年会から五名随喜させていただきました。



時折強く降る雨のなか僧尼や稚児等二百人を超える大行列とともに、七百年前に「お砂持ち」で整備された「神楽通り」などの参道を練り歩き、真教上人の足跡をたどりました。大勢の人びとに見守られるなか、一浄上人をは

じめとし氣比神宮内の池に砂を次々と運び終えるころには、雨がやみ晴れ間がぞいでいました。その情景は、神仏から祝福を戴いているかのようでした。時宗七百年の歴史と参詣者が多く訪れる信心深い氣比神宮との、互いに尊重し合う神仏習合の姿に感銘を受け、私にとって得難い経験となりました。

合掌

「東日本大震災物故者

十二回忌慰霊法要」

天台宗 神宮寺 真下 俊宜

平成二十三年三月十一日に発生した、東日本大震災は私たちにとって忘れることのできない出来事です。あの壊滅的な地震と津波により、茨城県内でも多数の死者と甚大な被害を受けました。そしてその大災害から十二年の時が過ぎました。

令和五年三月十日、北茨城市の長松寺（中村純裕住職）において、天台宗茨城教区主催東日本大震災物故者十三回忌慰霊法要が奉修されました。

当日は、中村純亮教区宗務所長が導師を務め、コロナ禍を考慮し教区内参加者を抑え、教区代表者が出仕のもと、長松寺檀信徒代表と北茨城市長豊田氏、



創業 明治26年

お線香・かおりの店 **坂場商店 小売部**
寺院用長寸線香・進物用線香・お香・香炉 各種
水戸市本町2-7-8 tel: 029 (231) 6217

日用品・雑貨卸業 **坂場商店 卸本部**
日用品、雑貨、文具、事務機器 各種
水戸市浜田2-15-39 tel: 029-225-3138



天台宗より来賓をお迎えして、震災により亡くなられた方々を追悼しました。当日参列した皆さまは、一人ひとり当時の事を思い返し、犠牲になられた方々に哀悼の意を捧げていました。



慰霊法要とは震災によって亡くなられた方へのご供養の場ではありませんが、同時に、継承の機会でもあると思います。未来の命を守るため、この地震による被害を風化することなく後世へ伝え、自然災害に対する防災への意識を忘れずに備えて行くことが私たちに出来る大切なことのひとつだと思います。当日、長松寺では、ひな祭りのお雛様を堂内に祭る「雛あかり」行事中で、数多のお雛様に見守られて、とても暖かさを感じるこの出来た慰霊法要となりました。



「浄土宗開宗八五〇年
慶讃法灯りレ」
浄土宗 安養寺 竹内 正俊

来る令和六年、法然上人が浄土宗を開かれてから、八五〇年という大きな節目を迎えます。令和五年五月九日（火）に全国から参集した青年会員が、法然

上人がご修行された比叡山黒谷青龍寺の報恩蔵から法灯を頂戴し、総本山知恩院まで念仏行脚をしながら、浄土宗開宗八五〇年慶讃事業としての「法灯りレ」が始まりました。途中、大本山くろ谷金戒光明寺にて献灯法要を厳修し、総本山知恩院へとリレいされました。



青龍寺出発



行脚（青龍寺～八瀬登山口1）

多くの方が参列された知恩院での開白法要後、各教区長が法灯を持ち帰り、茨城の地へも分灯されました。令和五年五月二十四日（水）大本山増上寺別院である常総市の弘経寺において、茨城教区の献灯法要を厳修し、各組長へと法灯が分けられました。これから県内全寺院へ法灯が分けられ、お念仏の法灯を菩提寺、檀信徒へと繋げて阿弥陀様とご縁を結んでいただきます。また、これから一年をかけて、各教区での法要、青年会での活動、各寺院での檀信徒教化を通じて、あらゆる有縁の方にリレいされる予定となっています。

ご宿泊、ご婚礼、総会・会議、お食事会
各種パーティーのご予約承ります

Hotel the West Hills mito
ホテルザウエストヒルズ水戸

水戸市大工町1-2-1 TEL.029-303-5111 (代表)

「日蓮宗北関東教区・檀信徒研修道場
『新たな心構え』
『宗祖七五〇遠忌を見据えて』」
日蓮宗・北関東教区長
星宮寺 相田 要練

北関東教区では、去る令和五年十月二十六日に取手市・瑞法光寺に於いて檀信徒研修道場を開催し、各寺院の総代など、約一五〇人が参加した。

開会式では各地災害犠牲者追善法要と災害復興祈願も執り行なわれ、国内のみならず、ウクライナ侵攻やトルコ地震・中東危機なども含んだ回向と祈願がなされた。

午後からは京都市・蓮久寺御山主の三木大雲上人を講師にお迎えして「信行の大切さ」と題した法話が行なわれた。法話では「八年後にお迎えする宗祖七五〇遠忌を念頭に、日頃の信行を如何に深めながら宗祖へのご報恩に報いるべきかを考えねばなりません」と正した後に「自己を省みる事によって新たな信行への第一歩が踏み出せたらならば、その八年間の積徳によって宗祖への御心に触れる事が出来るのではないか」との課題を投げ掛けられた。

当道場では、その他にも写経や唱題行、食法作法と云った所作仏事も行なわれた。



ある参加者の一人は「大変に有意義な研修でした。ご法話で教えて頂いた通り、反省が無ければ感動は無い、との戒めを肝に銘じて、素直で一途な信行によって御遠忌をお迎えしたいです」との抱負を述べていた。

闔宗では八年後の令和十三年に宗祖日蓮聖人の第七五〇遠忌を迎える。その御遠忌に向けて様々な信行活動や御報恩諸事業が始動した。コロナ禍やインフルエンザ等の脅威が残る中ではあるが、徐々にこれらの諸活動が推進展開されて行く事を願って止まない。

台 掌

「真言宗智山派茨城第一教区
『研修旅行報告』」
真言宗智山派
寶珠院 深瀬 隆純

九月十四日・十五日にかけて、茨城第一教区有志による福島会津方面への研修旅行が行われた。教区の研修旅行としてはこれまでに、東日本大震災で被災した南三陸町・気仙沼市などを慰霊訪問し、また長野善光寺や周囲の有名寺院を参拝、さらには九州まで足を伸ばし私ども真言宗の宗祖たる弘法大師にご縁のある観世音寺・太宰府等を参拝した。

しかし、例のコロナ禍による自粛を強いられることになり、都合三年間研修旅行の機会から遠ざけられることになった。それだけに今回の研修旅行には期待するところがあつた。これらの研修旅行の旅程は教区内文殊院、内山晴隆師の企画によるものである。勿論、研修旅行の目的地を決めるのは今年度より岸野教司師の後継となる伊藤善典教区長である。出発の挨拶で伊藤師は多くの住職が参加し易い予定を優先したと述べた。というのも、前回の研修旅行を終えた際、次回は北海道に行きたいという希望があつたが、それには最低二泊が必要で多忙なご住職方には

日程的に負担が多かろうという教区長の英断があつた。
今回は当初十二名の参加でほぼ例年並みであり、そのうち五名が初参加である。

扱て、十四日の出発は、これも例年通り那珂市一乗院様の駐車場を集合場所にして午前八時にバスの乗客となつた。今回は二日間で六ヶ所の寺院と名勝を巡ることになる。休憩をはさんで十時半最初の目的地「慧日寺」に到着した。駐車場にバスが着いたが他に車も見当たらず、残暑の中を歩いていくと、復元された建物が視界に現われてきた。ガイダンス施設に入って涼をとってから金堂を参拝した。当寺は平安時代初頭に徳一によって開山され、明治の廃寺に至るまでおよそ千年もの歴史を刻む古刹である。寺歴を辿ると幾度も火災に遭いその度に伽藍と仏像を再建してきた。昭和四十五年に国史跡に指定され堂宇も順次復元される過程にある。金堂の復元と共に丈六の薬師如来坐像もおよそ三年をかけて完成した。磐梯町と東京藝大との連携で復元がなつたもので、往時の古色を施されて威容を誇っている。また金堂前には広い石敷き広場があるが、記念に買い求めた『徳一菩薩と慧日寺』を紐解くと次のような記述があつた。

「古代の金堂は一般に奥行が狭く、人が堂内に入つて礼拝することはなく、礼拝や宗教儀式も金堂の前庭で行われるのが普通でした。慧日寺で金堂の前に石が敷き詰められていたのも、積雪とくに春の雪解けの際に儀式などを行い易くしたものと考えられます」。

復元施設を出て、駐車場近くの資料館を見学して慧日寺を後にした。次いで遠からぬ距離にある「勝常寺」に移動した。この寺には重文の薬師堂があり国宝の薬師如来三尊像が安置されているのだが、数日前までに予約しなければ参拝は不可とあった。国宝の薬師三尊を拝見する機会を失い少々残念ではあり、もう少し柔軟な対応も必要かと思つたが、個人が管理している寺院では無理からぬことかとも思つた。

昼食後「立木観音」と「柳津虚空蔵」を参拝した。既に午後になりやや慌ただしい参拝となつたが、柳津虚空蔵の壮大な伽藍は私たちを魅了した。太い丸柱が樺で外壁も玉杵であつた。現在これだけの材料を揃えたるとしたらどれほどの予算が必要かといらぬ想像を掻き立てられた。また、当地の土産物として人気のある赤べこの由来をこの寺で知ることが出来た。四百年ほど前この地が大地震に襲われ、柳津虚空蔵も大きな被害を受けた。再建に当たつ

ては巨岩の上に建てることにしたが労力が足りない。そこへどこからともなく赤牛の大群が現れて工事に助力し見事に完成をみた。この故事が郷土玩具赤べこの由来となつたのである。



柳津虚空蔵

これで本日の予定を終了し虚空蔵からごく近い「柳津温泉滞流の宿かわち」の客となつた。簡素な宿ではあるが、宿の人たちの心の籠つたおもてなしと料理で旅情を満喫した。

翌日は二ヶ寺と名勝を巡る予定である。最初は中田観音である。ここは昨日参つた立木観音、それと教区研修では平成二十八年に詣でた鳥追観音を参拝すると死ぬ時苦しむことなく「ころ

り」と死ぬる、会津ころり三観音として信仰を集めている。その中田観音だに福島が生んだ偉人、野口英世の母親が信仰したことが知られている。母親は毎月猪苗代から徒歩で参拝したそうだが、英世を火傷させて手の自由を奪われてしまったことを悔い、その治癒を一心に祈つたに違いなく、後年手の自由を取り戻した英世が世界的な仕事を遺していく原動力にもなつたと思ひ、深い信仰の力をこの寺から感じとることが出来た。

次いで法用寺を参拝した。県文化財に指定されている三重塔などを参拝した。簡素で趣のある塔であつた。広い境内はかなり雑草に覆われており、檀信徒の人たちだろうか除草作業に追われていた。

この日の昼食は近くの大内宿に移動し、名物のねぎ蕎麦を頂くことになつた。特製の曲がつたネギを箸代わりにして蕎麦をすする仕組みであり、美味しくもあり面白くもあつた。

最後に「塔のへつり」を見学した。これは太古、海底だった地層が隆起して風化・侵食により様ざまに奇観を呈している場所だった。バスを停めた駐車場の女性に先導され、店舗内を通じて展望台から奇観を見学したのだが、その説明より土産物を見る方に熱がこ

もつていたのが愛嬌であつた。後は一路帰るのみである。ゆとりを保持した行程だったので予定より早く一乗院様に帰りつくことが出来て、そのまま帰途についた。いつもながら内山師の旅の正確さ的確な参拝寺院の選択で、寺院の在り方と経営のヒントに至るまで習得出来て有り難いことであつた。

これを以て研修旅行の報告とする。



ご旅行のご用命は・・・

SHOKA TOURS **ビーエス観光**

御本山参拝・各地巡礼巡拝・
祖跡霊場参拝・中国シルクロード
お釈迦様の聖地
インド巡拝・ミャンマー仏教遺跡・・・など

**海外・国内・団体・個人問わず
お問合せ下さい!**

本社営業所 東京都港区新橋 3-2-7 TEL03-3502-4041



はじめに

近年、墓じまいが社会現象となり、マスコミでも頻繁に取り上げられています。御多分に漏れず、拙寺でも昨年は四家の方が墓じまいをされました。その事由はすべて後継者問題です。

そこで、今回は墓の歴史について考えてみたいと思います。まず、「墓」という漢字ですが、古代中国（今から約三千年前）に誕生したもので、「土」と「莫」で構成されていることから、死者を土で覆い隠す意味で用いられていることが分かります。因みに、小さな盛り土の場合は「塚」、高く盛り土された場合は「墳」、皇帝の墳墓は「陵」という文字が使用されました。

日本でも高く盛り土されたものを「古墳」とよび、天皇や皇后などの墳墓については「陵」とよんでいます。「墓」をハカと訓む語源は、死者を「はふる（葬）」と場所の「か（処）」からくるというのが有力です。このほか、『万葉集』では「奥津城（おくつき）」という言い方をしています。

◆縄文・弥生時代の墓

具体的な事例から墓の歴史を考えてみることにしましょう。考古学的には

旧石器時代の化石人骨が洞窟から発見されていますので、居住空間と埋葬地が近



弥生時代の骨壺

接していたことが考えられます。次の縄文時代も、集落遺跡から縄文人の墓（伸展葬・屈葬）が発見されていますので、居住空間と埋葬地は近接していたようです。

弥生時代になると、墓の地域差が見られるようになります。九州地方では甕棺や石棺など朝鮮半島系の墳墓が出現し、北関東では集落から離れた場所に再葬墓が造られるようになります。再葬墓というのは、埋葬した数年後に人骨を取り出し、骨を再び壺に入れて埋葬する墓のことを言います。

◆古墳時代の墓

古墳時代の墓は被葬者の身分により、前方後円墳・前方後方墳・円墳・方墳などの形に築くことが大きな特徴です。

古墳の中には石棺や石室が構築され、その中に副葬品が埋納されたほか、古墳時



富士見塚古墳（前方後円墳）

代後期には墳丘上に埴輪が樹立されるようにもなります。ただし、古墳の全てが権力者の墓かというところではなく、一族の長でも古墳を築くようになります。また追葬が行われ、石棺から多数の人骨が発見されることもあります。

◆奈良時代の墓

『続日本紀』には、七〇〇年に僧道昭が火葬され、続いて七〇二年に持統天皇が火葬されたことが見えています。奈良時代になると仏教が全国に広ま



奈良時代の骨壺

たので、貴族や僧による火葬が普及し、骨壺に入れた墓が造られるようになりま

した。『古事記』の編纂者である太安万侶の場合は、火葬された後に木櫃に骨が納められ、都から離れた丘陵の斜面に埋葬されています。これに対し一般の人々は、土葬されることが多かったようです。

◆平安時代の墓

平安時代の墓については、餓鬼草子（がきぞうし）の絵で知ることができ



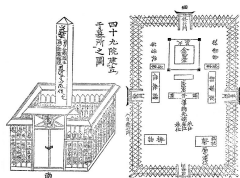
餓鬼草子（模本）

められた遺骸、盛り土に木が植えられた塚、板碑が立つ塚、傘塔婆が立つ石積塚、四十九院の板碑で囲まれた石造五輪

塔などが描かれており、多様な墓の形態が分かります。ただし、このような墓だけではなく、『続日本後紀』には嵯峨上皇の遺命に、「重以棺槨、圍繞以松炭」とあることから、木槨墓も存在したようです。四十九院については、僧侶の墓として今日にも伝えられています。昭和時代に土葬が行われていた頃は、一般の人々でも埋葬した上に四十九院を形作った輿を置いていた地域がありました。



頭徳院住職墓地四十九院



修験道無常用集

このほか平安時代は、土坑墓や甕棺墓なども存在していますので、多様な墓地形態が存在したようです。

◆鎌倉時代の墓

鎌倉時代に入ると、武士の台頭と連動して石造五輪塔が造られるようになります。写真右は常陸大掾の一族である多気太郎義幹の墓と伝えられている



伝多気義幹墓



極楽寺五輪塔

田の三村山極楽寺跡に立つ石造五輪塔です。建長四年(一二五二)に真言律宗の忍性が極楽寺に來住すると、西大寺系の五輪塔が小田氏の勢力下である県南地域に多く造られるようになりました。これに対し県北地域では、佐竹氏の庇護により臨済宗が広まると、宝篋印塔が武士や僧侶の墓として造られるようになりました。このほか、供養塔として武藏型板碑、常総系板碑が県南県西地域に広がりを見せました。

◆室町時代の墓

鎌倉時代後期に広がりを見せた石造



善光寺小田氏一族墓地

石で、このような石造五輪塔が武士一族の建立した寺院境内に造られるようになります。このほか戦国時代になると、土豪とよばれた人々も石造五輪塔を建立するようになりました。

◆江戸時代の墓

江戸時代になると、幕府は民衆掌握の手段として寺と人々を結び付けました。所謂、檀家制度が全国的に展開されたのです。その結果、武士以外の人々も墓石を建立するようになりました。特に県南県西地域においては、石造五輪塔が爆発的に造られるようになりま

した。また、江戸から運ばれた安山岩製の墓石などが、利根川流域や霞ヶ浦沿岸に建立されるようになります。この安山岩製の墓石は、神奈川県真鶴半島の小松石と呼ばれているもので、水上交通を利用して茨城の地まで搬入されたものです。このほか、江戸時代中期以降には銚子石とよばれる千葉県産の石材が用いられるようになり、墓地には多

五輪塔は、室町時代になると武士の墓として定着するようになりま



水戸市常磐共有墓地

れて神葬祭を行う地区が見られるようになります。写真の水戸市常磐共有墓地では、江戸時代まで水戸藩の政策により

このような両墓制は、茨城県だけの特徴ではなく、全国的に見られた墓制です。また、墓には村落の共同墓地、寺院墓地、個人墓地などの形態があります



粟田地区共同墓地



◆明治時代以降の墓
明治五年(一八七二)、自葬が禁止され、僧侶だけでなく神職も葬儀を行うことが認められると、菩提寺から離

自葬祭でしたが、明治時代以降は神葬祭に移行するようになりました。また、明治三十一年(一八九八)、家族の定義が民法に明文化されると、政府は日本を「家」によって統制しようとし、墓についても家を強調した政策がすすめられました。これにより両墓制は姿を消し、新たな共同墓地が整備され、家ごとに区画した墓地が造られるようになりました。そして、墓石の建立と埋葬が同じ区画内で行われることになり、墓石に「〇〇家之墓」と刻むことが一般的になりました。その後、火葬が一般化すると墓地の小型化が進み、墓石も地震による倒壊をおそれて洋型が増加してきました。また、近年では墓石を建立しない葬送も見られるようになってきました。全国の墓地総数は八十六万四千三百六十五箇所といわれていますが、少子化の進む状況を考えてみると、墓じまいはこれから益々増加の傾向にあるといえるでしょう。

茨城共同サービス株式会社



JA 祭典

優しいお葬式をご提供いたします

フリーダイヤル **24時間365日対応**
0800-8006-506
 どんな事でもお気軽にご相談ください。

ホームページはこちら
<https://www.ibaraki-kyodo.jp>



| | | | |
|----------------------|---------------------------|------|--------------------------|
| 県央地区 | ■東水戸ホール ☎029-247-5942 | 県南地区 | ■ほこたホール ☎0291-34-0983 |
| | ■おくのやホール ☎029-219-0983 | | ■なめがた潮菜ホール ☎0299-80-1889 |
| | ■源想園中央水戸ホール ☎029-297-7722 | | ■いなしきホール ☎0297-87-5942 |
| | ■城里ホール ☎029-291-4194 | | ■小絹ホール ☎0297-52-5942 |
| | ■ひたちなかホール ☎029-285-5942 | | ■山王ホール ☎0297-70-4194 |
| | ■金上ホール ☎029-354-0983 | | |
| ■那珂ホール ☎029-352-0983 | | | |

総合御寺院用仏具専門店



福祿堂佛具店

フリーダイヤル ☎ **0120-77-2969**

ホームページ <http://www.sichifuku.jp>

本社・工場・展示場 〒834-0111 福岡県八女郡広川町日吉 1407
 関東営業所 〒347-0063 埼玉県加須市久下4丁目1-2



QRコード

各宗派、本山参拝のご用命ならなんでもご相談ください。

茨城県知事登録旅行業 第2-695号 一般貸切旅客自動車運送業

つばさ観光株式会社

本社 〒300-2631 茨城県つくば市沼崎4122
 TEL 029-847-0527 FAX 029-846-0836

茨城中央営業所 〒309-1621 茨城県笠間市手越349-6
 TEL 0296-71-6575 FAX 0296-71-6583





石のことなら

石の店 はぎわら

フリーコール ☎ **0800-888-1483** いしやさん

ホームページ <https://www.hagiishi.jp>

墓苑企画、開発のご相談は、はぎわらへ ●真壁本店 ●水戸店 ●埼玉各営業所

早さと正確をモットーに
より美しく、より創造的なプリントワークをめざして

センタ-印刷株式会社

〒310-0817 水戸市柳町1丁目1番1号
TEL 029-224-4535
FAX 029-225-5007




Twitter  公式 HP 

婚礼・宴会・宿泊
会議・レストラン
お気軽にお問い合わせください

Facebook  

ホテルレイクビュー水戸 HOTEL LAKE VIEW MIITO
●水戸駅(南口)下車徒歩3分 ●駐車場240台 〒310-0015茨城県水戸市宮町1-6-1
お問い合わせ・ご予約 029-224-2727



Gibraltar
ジブラルタ生命

私たちジブラルタ生命は、一人ひとりのお客様に生命保険の
真価を正しく伝え、真に役立つ生命保険を提供し、
保険金を支払うまで誠実に生命保険サービスを続けることで
お客様とご家族に経済的な保障と心の平和をお届けします。

ジブラルタ生命は、【茨城県仏教会提携保険会社】です。茨城県仏教会は、ジブラルタ生命との
連携により「退職金積立プラン」「終身保障プラン」加入の推進をさせていただいております。

ジブラルタ生命保険株式会社 宇都宮支社 宇都宮第二営業所 担当：阿見 とも子
栃木県宇都宮市大通り2-3-1 井門宇都宮ビル6F TEL：028-614-3601

創意と技術
社寺建築
株式会社 **モトタテ**



山形県酒田市宮海字明治 99-1 ホームページ

0234-33-4343

使用写真:坂東市 高聲寺
施工事例はホームページでご確認ください



お寺でできる節税対策



真言宗智山派
阿弥陀院住職・税理士
河村 照円

石岡市にて真言宗智山派阿弥陀院の住職をさせていただいている河村照円と申します。法務の傍ら、税理士として主に寺院の会計・税務・運営相談などを行っており、教区や青年会などでの講演や『月刊住職（興山舎）』や『地域寺院（大正大学出版会）』の連載記事の執筆なども行っています。前三回は税務調査への対応策についてご紹介いたしました。今回はお寺でもできる節税対策というテーマで、書いてみようと思えます。

◆ 宗教法人は非課税なのに節税は可能なのか

ご存じのとおり、お寺は宗教活動のみ行っていれば法人税が課税されません。これは宗教法人が「公益法人」に該当しているからであり、公益法人は「収益事業を行った場合に限り」法人税が課税されることとなっています。つまりお寺であっても、物品販売業などの収益事業を行った場合には、法人税が課税されます。

さて原則として課税されないお寺に

おいて「節税」という視点は存在しないようにも思われます。節税とは、合法的な範囲内で税金を少なくすることを指していますので、そもそも課税されないのであれば、税金を少なくできる余地がありません。ではどの部分において節税が可能になるのでしょうか。

その答えはほとんどのお寺が納めている「所得税」に対して、節税が可能となってくるのです。お寺が住職や副住職などに支払う給料に対しては所得税がかかります。これは住職や副住職の個人に対する税金であるものの、源泉徴収といつて、給料から差し引いてお寺が代わりに納税する仕組みとなっているため、お寺が納めるという表現としたのです。また所得税は計算の仕組みにおいて住民税に連動しています。さらに住民税は国民健康保険料とも連動し、保育料などにも影響が及びます。つまり所得税が少なくなることで、他の支払いまで少なくなることにつながるのです。

◆ 所得税の節税方法とは

脱税は違法となりますが、節税は法律に定められた範囲で税金を少なくすることをいいます。つまり自分たちに有利になる法律を知っているかどうか、ともいえるわけです。国はその政策において、各方面に優遇措置を設けてい

ます。その優遇措置が節税なのです。ですので、節税対策を行っても違法ではありませんし、逮捕されることもありません。

所得税の節税という観点で、一番その効果が大きいのは「退職金」です。

お寺の場合、退職を意識することは少ないと思います。そもそも僧侶は職業ではないですし、僧侶を退職するということは、環俗するのかわかれる方もいらつしやるでしょう。退職とは僧侶の退職ではなく、お寺の代表役員、つまり住職の立場を後任に譲ることを指しています。ですから住職を退職しても、名誉住職や長老、東堂など各宗派において住職後の役職が設けられている職に就くことは可能で、お寺から引き続き給料をもらうことも可能です。ただし住職在任時の半分以上もらっていると、退職金の節税効果がなくなってしまうので、大幅な給料ダウンが要件となります。

退職金は一般的には「老後の生活保障」といった側面がありますので、重税が課せられてしまうと老後に不安を抱えることとなることから、国の政策として税金が優遇されているのです。具体的には退職所得控除と呼ばれる大きな控除枠があり、在籍一年につき四十万円、在籍が二十年を超えると一年あたり七十万円が計算されます。た

とえば在籍四十年の方であれば、二千二百万円（四十万円×二十年）＋七十万円×二十年）まで退職金をもらっても課税されないのです。これが退職金ではなくボーナスとして二千二百万円をもらってしまうと、所得税と住民税を合わせて七百万円以上の税金を納めなくてははいけません。なお在任期間は住職としてだけでなく、副住職時代からも含めたトータルの在任期間となります。

退職金の手続きは①お寺で退職金規定を制定する、②責任役員会議事録を作成する、③住職を退任する、④退職金を支給、⑤退職所得の受給に関する申告書の作成、の流れで行います。ひとつずつ見ていきます。

まず①の退職金規定についてです。これはお寺ごとに独自のものを作成できます。退職金はどのように計算するのか、といった内容を盛り込みます。この規定がないと退職金の計算根拠がなくなり、ボーナスと同じように扱われ、前述した大きな控除枠も適用できなくなってしまうのです。

次に②の退職金規定を制定するため責任役員会で決議した議事録を作成し、保管しておきます。責任役員会は寺院規則に定められた定数の過半数でその決議が有効となります。多くのお寺では責任役員は三人となっているので、

その場合、最低二人の承認が必要となります。

必要な書式が揃っている状態で、③の住職を退任します。宗派において新住職の辞令が交付されたら、それを持って法務局で代表役員の変更登記を行います。その後、通帳などの名義変更を行います。

退職の手続きが完了したら、以前に制定している退職金規定に基づいて④の退職金を支給します。

最後に⑤の退職所得の受給に関する申告書を記入し、保存しておきます。この書式は税務署で取得するか、国税庁のホームページからダウンロードすることができます。この申告書を作成しておくしないと、前述した大きな控除枠のある退職所得控除が適用できず、退職金に対して二十%の所得税が課税されてしまいます。なお退職金は年末調整では処理できないので、受給した年の翌年三月十五日までに確定申告を行います。

◆ 保険と相性の良い退職金

退職金目的で保険を活用しませんか？このような提案を保険会社や銀行から受けたことのあるお寺は多いのではないのでしょうか。保険会社も銀行も、保険商品を販売することで手数料が稼げるので、宗教法人に目を向けて営業を

しているのです。お寺側においても、将来の退職を見越して、保険で積み立てる方法は選択肢のひとつだと思います。

退職金目的の保険というのは、「保険」と「貯蓄」がセットになっているもので、退職を想定する年齢まで保険会社に積み立てをして運用してもらうのです。そうすると、銀行利息よりも高い利率で運用されることで、将来、解約したときに増えて戻ってきます。またその期間中にもしも亡くなってしまう場合には、生命保険金があるので、死亡退職金として遺族へ支給することができます（この点も退職金規定に盛り込むと良いです）。遺族にとっては家計から保険料を負担せずに保険金がもらえるのです。

このように保険と退職金は相性が良いので、実際に活用している寺院も多くあります。ただ、保険と貯蓄は組み合わせ必須というわけではなく、退職金を支払うだけの預金残高がすでにあるお寺では、保険は掛け捨てタイプでも構いません。また保険会社の運用利回りよりも、自分で運用した方がもっと増やせるという方も、保険は掛け捨てタイプで良いでしょう。

◆ その他の節税対策

今回は大きな控除枠のある退職金を中心にご紹介しました。このほかにも、

出張旅費規定を作成して出張手当を支給したり、福利厚生規定を作成して人間ドックの費用や病気見舞金を支出したり、細かい節税方法は存在します。また若い方であればDPOを活用し、実質的に毎月の貯金を経費にできるような手法もありますし、二千万円で全国の名産品カタログショッピングが楽しめる、ふるさと納税（人により寄付上限額が変動）もあります。今回は誌面の都合で詳細までは触れませんが、税金に関する知識を深めることで合法的に税額を少なくし、その結果、生活を充実させることができるようになります。この原稿をきっかけに少しでも税金に興味を持っていただければ嬉しく思います。

河村 照円

(阿弥陀院住職 税理士・行政書士)

〒三一五〇一三三二
茨城県石岡市半田一一一七
TEL 〇二九九―四二二―二〇〇三
FAX 〇二九九―四二二―四三三二
ホームページ
<http://www.i-otera.com/>

★ 講師依頼承ります

教区や青年会などの勉強会で、僧侶目線で会計や税金の解説をしています。

創業150年にわたる実績と信頼でお客様の期待に応えます。

墓石・寺院仏具のことなら、笹本石材にお任せください!!

笹本石材(株) 創業明治三年



石とお仏壇 ささもと



0120-019-148

QRコードからホームページへアクセスできます。



鹿嶋本店 鹿嶋市宮中1-10-10
☎ 0299-82-1548

佐原店 香取市佐原ホ335-3
☎ 0478-55-1401

東 店 稲敷市西代1202
☎ 0299-78-3301

自由投稿

「フランスの真言行者

『融快・融仙師』

真言宗豊山派

龍雲山 普門院

渡邊

英雅

今年、宗祖弘法大師御生誕千二百五十年の正当年を迎えて、全真言宗派挙げて報恩謝徳の慶讃法要や大行事が修行されました。私共も総本山長谷寺にて（五月十五日）厳修された慶讃法要に参加させて頂き供養の誠を捧げました。大行事を控えた数日前迄、私はお大師様の奇縁なのか、長年の想いを果たすべく薫風に吹かれて、フランス・ブルゴーニュ地方に在る【光明院】住職の融快・融仙師等と実に四十年ぶりの再会を果たすことが叶いました。

去る昭和五十九年は弘法大師千二百五十年御遠忌正当年で、私が総本山長谷寺研修所で修行中の時、フランス【ギメ東洋美術館】で、今は亡き先師・田嶋隆純師の功績に応える弘法大師御影供法要に参加したことに始まります。田嶋隆純大僧正は更に遡ること五十年前（昭和九年）フランス「ソルボンヌ大学」に三年間留学し『大日経の研究』等で博士の学位を取得し世界に「真言密教

を初めて伝えた偉大な先徳であり、後に『巢鴨ブリズンの父』と崇められた方です。私はその法要で僧侶を目指していた融快師等と初めて出逢いました。

融快師等は、豊山派の青木融光阿闍梨の室に入り「融快・融仙」の僧名を頂き出家得度、加行・灌頂の過程を成満し、晴れて真言宗豊山派の僧侶となりました。彼等が修行の為に来日していた当時、田代弘興元親下は、彼らの志を理解し御自坊に寄宿させたり様々な支援をされました。その後、田嶋隆純師の後継者である正真寺の田嶋信雄夫妻が熱心に面倒をみられその他多くの豊山派の諸大徳も支援して来られました。融快師等は、真言密教の法燈を灯すべくフランスに寺院を建立するという大願を掲げ、東京都内では、浅草雷門や巢鴨地藏通り等、日々朝から晩まで托鉢修行を続けました。

更に真言密教を深く理解する為に高野山へ行ったり、生駒山宝山寺貫主松本実道阿闍梨に教えを求めて『聖天浴油法』を伝授され免許皆伝となりました。しかし、それらのことで豊山派で彼らを支援していた諸師の中には同宗他派に教えを求めて修行していた融快師等に誤解や疑念の向きが生じたとき等がございましたが、私的には融快師

く理解する為「遍学」する過程が必要不可欠だったのでないかと存じます。（彼らの歩んだ道と現在の姿勢を知ること）

托鉢修行で得た浄財と私財を投じブルゴーニュの農村の片田舎の農家を買取り、土地を整備し百五十年前の牛舎と農家を改修し賛同者と共に多くの汗を流してお堂に改築。長い年月を掛け仏教寺院の様相を整えながらフランスの地で四十年に渡り真言密教の不断の行（歓喜天浴油法等）を続けている崇高な修行僧の姿が其処に在りました。



木々に囲まれた敷地にある光明院

贅沢一つせずに己を律し且つ自身の年金と信者からの僅かな会費で生活を続けている事は驚きであり真似の出来ない稀有なことであります。融快師に教えを乞いたいという人達がいる限り、その四十年の布教を続けている彼等の歩みを止める事は避けたいものであり

報恩殿

葬儀のすべてを信頼と実績のある
老舗（創業明治元年）の当社へ安心してお任せください。




(株)齊藤豊元社

水戸市東台1-12-16 FAX029-221-3794
TEL 029-221-3630
<http://www.hougensya.com>

事前（生前）打ち合わせ無料

秘密厳守

葬祭場 報恩殿

水戸市谷田町908-1
TEL029-300-4531

ます。宗教に真摯に取り組みこのヨーロッパの中で真言宗の灯を消すことは非常に惜しいことです。



左から融快師、渡邊、融仙師、お弟子さん

次世代の人がフランス光明院の「継承」と「継続」の課題をきっかけに世界中で「真言密教」弘法大師の教えを学ぶ状況になる事を祈って止みません。

金剛合掌



日本語



スペイン語



田嶋隆純大僧正



フランス語



英語



中国語

※文中のQRコードを携帯等で読み込み、ダウンロードしてご覧下さい。動画を五ヶ国語のナレーションでご覧頂けます。



雄弁札所木札

「観音開帳」
— 猿島阪東観音霊場 —
真言宗智山派
自性院 伊藤 善典

満開の桜の花や五色の吹き流し、多くの人で賑わう境内に煙たいくらいの線香の煙…。
やっと物心がついたくらい遠い記憶の中に、なぜか鮮やかに残っている光景があります。
『猿島阪東観音霊場』は享保十年真言宗豊山派萬藏院の五十二世、雄弁（おうべん）上人によって開創されました。ご開帳は、午年が多い観音霊場の中で唯一巳年毎、十二年に一度開催される地方霊場です。札所は、千葉県の間宿から始まり旧猿島阪東地区を中心に設けられています。開創に際し雄弁上人が札所の番号を記して各札所に納めた位牌状の五輪木札も貴重な資料として一部の札所に現存しています。



ご開帳

三月から四月、春爛漫のひと月が開帳期間で、ご開帳が近づくと各札所では、御朱印所の設置や供養塔のほか参拝者を楽しませる人形飾り等の準備に追われます。
十二年に一度また一ヶ月限定の開催とあって、全ての札所を巡った年配の巡拝者は、結願時にひときわ深い感慨を覚えるようです。
開創三百年に当たる今回の令和七年のご開帳まで、あと一年となりました。多くの善男善女を十二年ぶりに迎えられることを感謝し、役員さんと共に準備を進めようと思えます。



はせがわ

つなぎます。心と、いのちと、人。

☆会報誌をご持参の上、はせがわ茨城県内店舗にてお仏壇をご購入の方に限り、特別割引価格にてご購入いただけます。

・水戸バイパス店・荒川沖店・勝田店・守谷店・イーアスつくば店
水戸バイパス店 電話 0120-724-150

「高校時代の北海道
SL撮影日記から」

真言宗智山派

文殊院 内山 晴隆

昭和五十年二月、進学が決まり、卒業式までの自由登校期間に行つた一週間の北海道撮影旅行の日記から、思い出に残つたある一日を、当時撮影した写真とともに紹介いたします。

二月二十六日 室蘭本線のデコイチ、シゴナナを撮り終えて明日は名寄線に行くため、由仁駅で急行大雪号のグリーン車座席を取る。深川駅から乗車、車内は半分程度の人数で、旭川を過ぎても隣に来る人無く、悠々なる気分。グリーン車は八〇〇円、B寝台二〇〇円の座席幅五十四センチから比べると快適かもしれない。斜め向かいの席に長めのカメラケースを持った方がいたので、「どちらの鉄道を撮りますか」と尋ねると「いや、私はオジロワシの写真を撮りに来ました」と。東京から来て一週間網走周辺に滞在するとの事。カメラ、三脚、SL撮影と言う思い込みに反省し、しばらくはその方とカメラの話などで楽しいひと時を過ごし、眠りについた。

二月二十七日 撮影の疲れと、前日旅館であまり眠れなかつた為か、列車



沙留駅と親切な駅員さん（現在は廃駅）

でぐつすり眠り、気が付けば遠軽駅に到着、窓の外はまだ真つ暗だが水銀灯に照らされた構内は異様な気配、名寄線乗り換えの為降りると、途端に顔を刺す冷気に包まれる。尋常でない寒さ、数台の蒸気が止まっていたが撮影どころではなく、早々に名寄線の始発DC

車両に乗り込む。車内は暖かかったが、発車した列車はかなりの速度で走り、縦揺れでつり輪が激しく波打ち、脱線する恐怖に駆られた。上湧別駅に下車、駅はゴチゴチに凍結していて階段で転びそうになる。早速、駅員に貨物列車運転状況を尋ねると申し訳なさそうに

「凍れてしまつて運休なんです。」ガーン！この後どうするか混乱、次の下りには時間がある。列車ダイヤを見て海岸沿いを走る九六〇〇型機関車（SLキューロク）に決める。ちなみに気温を駅で聞くと氷点下二十五度だった。

気を取り直して目的地に向かい、オホーツクの海に近い沙留駅で降りる。駅を出るとプレートゲーターの橋梁があり、海を背景に撮影したいと思っていたが、なんとここもウヤ（運休）。絶望した私を見て駅員さんは気の毒に思つてくれたのか、他の線区の運転状況を調べてくれて、湧網線の貨物は走るとの事、一日棒

創業明治 32 年



平野屋清太郎商店

念珠の修理
仕立て替え
承ります



念珠
仏具用品
記念品

〒113-0034 東京都文京区湯島 4-5-3

東京メトロ千代田線「湯島駅」下車 3分 湯島天神大鳥居前

定休日：日曜・祝日・年末年始 営業時間：9:00-18:00

TEL：03-3811-4450 (代) FAX：03-3811-4405

MAIL：hira2000@lime.ocn.ne.jp

HP：http://www.hiranoya.info



流氷で覆いつくされたオホーツクの海

に振るところを安心したら急に腹がへつた。早朝から何も食べていない。十時の雑貨屋でパンとカップヌードルを買った。店のお婆さんに頼んでお湯をもらおう。「どうして食べるのかい」と聞かれ、

「外で」と言うと「コタツのある所で食べなさい」とお店の居間に通された。東京から汽車を写しにきた事を伝えると「ようよう来なされたな」と漬物を出してくれた。しばらく話をした後海岸へ出ると、海は一面流氷で覆

雪原となつてゐる湖畔を入れて撮影、平凡な一枚。夕方の網走行きに乗る。温かい車内で連日の疲れと、寒さしのぎのトリスウイスキー小瓶のちびりちびりが効いて熟睡、気がついたら車内は真つ暗でアイドリングのエンジン音だけ、慌てて運転士に駆け寄つた。びつくりした様子で、まだ居たのかと怪訝な顔、向かい合わせの座席に荷物を置き横になつていたので、気づかなかつたようだ。そのまま寝いていたら車庫の中に一晩過ごすことになつて、たかも知れなかつた。この日は駅前

のビジネス旅館に素泊する。

ひと安心し、駅員さんにお礼して乗り込んだ。駅と商いのお婆さんの親切が心に染みた。

北海道撮影日記を読み返すと、西女満別駅で列車を待つ間駅長室に招かれ、お茶とお菓子をいただいたことや、素泊まりで泊まった駅前旅館の女将さんが早朝にもかかわらず、おにぎりを作つてくれたことを思い出します。古き良き時代、厳寒の北海道への若き一人旅はとても懐かしく、多くの方の親切によつて支えられ、心に残る旅となりました。

湧網線のサロマ湖沿いの芭露駅になんとなく降りる。サロマ湖は一面の雪原、湧別方に戻ると程よいカーブと木々がアクセントになる場所でカメラを構える。フロントデッキに雪を

※この時訪れた辺境の駅や路線の多くが現在廃駅、廃線となつてい

が走り去り、満足するカットになる。すぐに下り貨物が来るので、

作務衣

白衣

改良服

襦袢

雪駄 足袋

株式会社 埼玉法衣

Tel 048-853-9624

Fax 048-853-8631

お仕立て券

お洗濯

その他特注

HP、公開中。



<https://www.saitama-houi.com/>



防犯カメラ

～寺社施工実績多数～
弊社にお任せください！

～防犯カメラ設置のメリット～

- 証拠として残る ⇒ 高い犯罪抑止力
- 目が届かない場所（死角）をなくす

タカギセキュリティは長年にわたって寺社に特化した防犯カメラ設置業務に携わっており、重要文化財施設への施工実績も有する高い技術力と寺社の特性にマッチしたきめ細やかなサポートに自信を持っています。

～時代に対応した安心を～

顔認証機能付 サーマルカメラ + アルコールチェッカー



～サーマルカメラ&アルコールチェッカーの導入メリット～

- 来訪者の体温を瞬時に計測
- AI顔認証機能でセキュリティも万全
- PC接続により別室からの管理も可能
- 検温はマスク着用のままでOK
- アルコールチェックを行うことでより安全な車両運用管理が可能に

※サーマルカメラとアルコールチェッカーは個別に導入することも可能です

お見積もりは無料です

タカギセキュリティ 検索

株式会社 **タカギセキュリティ**

0297-66-0270

〒301-0046 茨城県龍ケ崎市入地町381-1
<http://www.takagi-security.com>

建物と想いと匠技を相承する

カナメの 社寺建築

株式会社 **カナメ**
栃木県宇都宮市平出工業団地38-52
TEL.028-663-6300

最新施工事例は
ホームページを
ご覧ください。



茨城県猿島郡五霞町 隆岩寺様 (本堂新築工事)

50年後、100年後の 信頼を大切にします

● 仏壇・仏具・寺院用具、取扱店 ●



総本店 / 東茨城郡茨城町長岡3523-39 ☎029-291-0033
那珂店 / 那珂市菅谷2297-1 ☎029-295-3740
石岡店 / 石岡市国府4-4-23 ☎0299-56-3794

仏像・仏具の作成、修復 お気軽にお問合せ下さい



修復前



古代仕上げ 修復後

京成百貨店 9階 レストラン街のご案内

和食 **和食 米寿 はなれ** 座席数:150席



米寿
勝田駅前の繁盛店「かまど飯・酒肴 米寿」の2号店が京成百貨店レストラン街にNEW OPEN。薫り高い薫焼きや、食材の旨味を引き出す原始焼き、5つ星お米マイスター厳選米の炊きたてご飯等、こだわりの逸品を提供します。

TEL.029-291-6720(直通)
終日全席禁煙

洋食 **オイスターバー エイスシー オイスターバー** 座席数:42席



8th SEA OYSTER Bar

世界各地から厳選した新鮮で安全な生牡蠣を一年中楽しめる。スタイリッシュなカジュアルダイニング。名物料理の「ガンボ」をはじめ、サラダ・パスタなどフード料理の数々もご用意しております。特製ソースで旬の牡蠣をお楽しみください。

TEL.029-302-5037(直通)
終日全席禁煙

韓国料理 **韓国旬彩料理 妻家房 SAIKABO** 座席数:72席



妻家房
新宿区四谷に本店を構える韓国料理店「妻家房」。料理研究家「柳音姫」が素材にこだわり、手法にこだわり、守り続けたオモニ(お母さん)伝統の味。手間を惜しまず作るからこそ美味しい、そして、からだにやさしい韓国旬彩料理です。

TEL.029-302-5108(直通)
終日全席禁煙

寿司 **寿司・海鮮 飛勳水産 鮨 一華** 座席数:70席



鮨 一華

魚を知り尽くした魚屋だから、素材に絶対の自信あり。本鮨を中心に日本の旨い魚と地元茨城の米にこだわり、熟練の職人が握る安心安全な「王道の鮨」。余分な手を加えず、本来の味を楽しんでいただけるよう、自然の恵みをご提供いたします。

TEL.029-303-8717(直通)
終日全席禁煙

洋食 **ステーキ&ハンバーグ ウェスタン牧場** 座席数:70席



ウエスタン牧場

創業100年以上のステングループ。自社工場を持ち、こだわりのハンバーグやステーキをご提供いたします。また、店長自ら収穫するこだわりの地元農家直送サラダバーも自慢のひとつ。ウエスタンのアメリカな雰囲気の中でお食事をとお楽しみください。

TEL.029-302-5141(直通)
終日全席禁煙

和食 **常陸の和食 別邸 世田谷** 座席数:80席



別邸 世田谷
常陸の和食 Setagaya

茨城を代表する最高級「常陸牛」の最高級ランクA5にこだわった常陸牛極上すき焼御膳。毎日店内で精米する希少なお米【いのちの香】をすべてのメニューに使用しています。すき焼き以外の食事メニューも古酒も含めレアな日本酒も取り揃えております。完全個室ですので目の目を気にせず大切な方との特別な時間をお過ごしください。

TEL.029-232-8422(直通)
終日全席禁煙

中国料理 **中国料理 景山** 座席数:96席



景山

京成ホテルの本格中国料理です。落ち着きと華やかさをあわせもつインテリア、古典と現代をやさしく調和させた、中国料理をお楽しみください。

TEL.029-302-5105(直通)
終日全席禁煙

そば・うどん **そば・うどん・天ぷら 常陸秋そば 泉** 座席数:84席



常陸秋そば 泉

当店のお蕎麦は、茨城県の常陸秋そばを使用しております。ご注文を受けてから調理をし、そばは茹でたて、天ぷらは揚げたてをご提供いたします。千波湖周辺の水戸の景色を眺めながら美味しい常陸秋そばをご堪能ください。

TEL.029-297-2110(直通)
終日全席禁煙

イタリアン **パスタ Groovy** 座席数:88席



Groovy

多くのファンを獲得した地元で好評のイタリアンの人気店。オリジナルの豊富なメニューとあふれるボリューム、こだわりのケーキやパフェも充実していることから、多くの女性から圧倒的支持を受けております。

TEL.029-302-5555(直通)
終日全席禁煙

とんかつ **こだわりとんかつ あぢま** 座席数:64席



あぢま

茨城県産の銘柄豚ロースブロックを使った安心で安全な豚肉。素材の旨みを生かす為には塩でいたぐのがあぢま流。パン粉や水にこだわり、美味しいお米は地元茨城からの産物。体に優しいとんかつをお楽しみください。

TEL.029-302-5067(直通)
終日全席禁煙

甘味・食事 **甘味・食事処 麻布茶房** 座席数:56席



麻布茶房
ASABU SABOR

東京生まれの本格的甘味・食事処「麻布茶房」。和の雰囲気現代風にアレンジし、アンティークを施した落ち着いた店内で、バラエティに富んだメニューから和風スイーツとお食事を、心ゆくまでお楽しみください。

TEL.029-232-9070(直通)
終日全席禁煙

～バンケットルームのご案内～

ご宴会・ご会合・各種パーティに、本格派レストランの味を。お料理は、和食・洋食・中国・韓国多彩な11店舗のメニューの中から、ご予算に合わせてお選びいただけます。

お客様同士で安心してお食事が出来ますよう、アクリル板をご用意しております。

パーティーションをはずせば立席で70名様までご利用いただけます。



結婚式の二次会など立席パーティご利用。 法事・ご宴会など兼席ご利用。 (全室90.1㎡)


 お子様安心対応  車椅子可  個室有  座  お座敷有  お酒有  ご予約可  パーティー・宴会可  テイクアウト

※お酒は、各店ご用意しております。※お席のご予約は各店承っております。

営業時間など、最新の情報は当店ホームページをご覧ください。

素晴らしいこといっぱい
KEISEI 京成百貨店 〒310-0026 水戸市泉町1-6-1
 TEL.029-231-1111(大代表) www.mitokeisei.co.jp



教化の広場 教化部の活動の一環です。

しあわせ

言葉集

幸せ 〓 《少欲知足》

ありがたいと

思う心が

今日のしあわせ

他人をうらやましがっている時

自分の幸せは 見えない

戻らぬ過去を追い求める時

今の幸せには 気づけない

美味しくご飯をいただいて

陽に当てし布団にくるまり

眠れるしあわせ

福を願うて祈るは無駄よ

祈るその手が福の神

朝の合掌に

今日を生き抜く願いを

昼の汗に

生きているよろこびを

そして夜の合掌に

生かされている感謝を

・・・できた

・・・できる

・・・できている

自分の行動の最後に

付けてみよう

踏みながら

探しているよ

ふきのとう

仏の救いとは

今まで何気なくけとぼしていた

「もの」や「いふ」を

両手合わせて

拝めるように

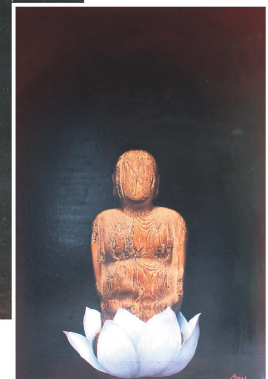
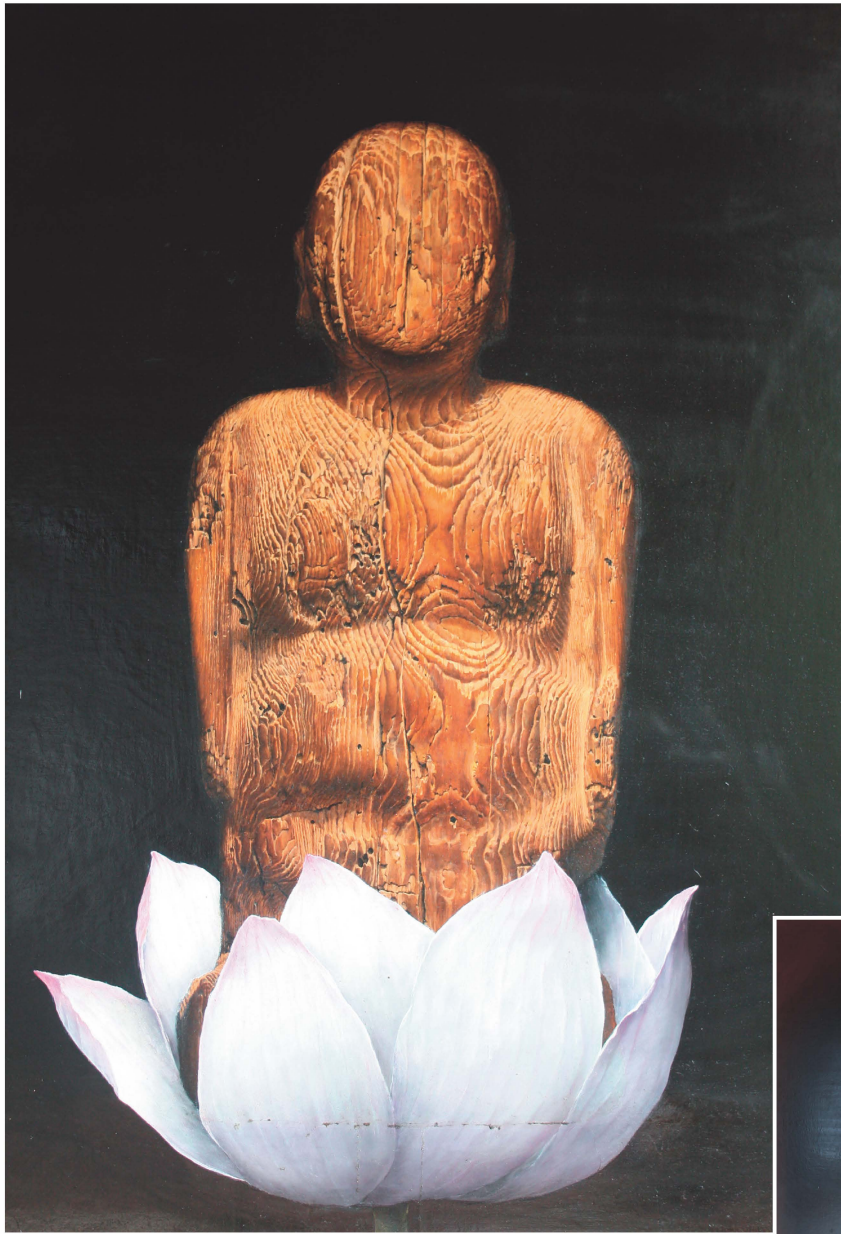
なることである

幸せに 形はない

いつでも 幸せと

思える ところを 育てる

それを 修行という



《 おびんずるさま 》 P100号油彩
(賓頭盧尊者)

「オビーンズル！」

子供の頃、大人の人に首を両手で挟まれ、ぶら下げられながら、こう言われました。意味を聞いたら、「おまえが、健康で、元気いっぱい、すくすくと育ちますようにと願うんだよ！」とのことでした。皆さんはこんな経験ありましたか？

長野善光寺の盗難事件でも有名になりましたが、「おびんずるさま」は、もともとお釈迦様の弟子で、十六羅漢の一人です。正しくは「賓頭盧^{びんずるはらだ}頗頗羅墮」と言い、説法に優れましたが、しばしば神通力を弄んだため、お釈迦様から叱責を受け、仏滅後の衆生救済を命じられました。このことから、「撫で仏」として、この像を撫でて御利益を得ながら、悪病を除き、病氣平癒を願うようになりました。自坊のおびんずるさまは、撫でられ削られてこのような尊いお姿です。あるお参りの方がこの像に感動して次の歌を詠みました。
【我が身体 細る痛みの つらさより 世の人々の 病救わば】 合 掌

文・画 浄土宗 菊蓮寺 安西 仁人

掲示板

震災お見舞い

令和六年一月一日に発生した能登半島地震により、犠牲となられた方々におくやみを申し上げるとともに、被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。

令和六年一月十九日

茨城県仏教会

会長 岸野 教司

スケジュール

四月 県仏教会総会

八月 茨城県主催
戦没者慰霊式典

十月 県仏研修会

十一月 シャーラサンガ懇談会

二月 全仏新年懇親会

各宗派布教師会会長等懇談会

各宗派青年会長等懇談会

三月 全仏懇話会・懇談会

巻頭写真寺院

浄土宗

寿亀山天樹院弘経寺

弘経寺は応永二十一年（一四一四）嘆善良肇上人により創建され、室町時代には関東浄土宗の中心的寺院として栄え、多くの学僧を世に送り出しました。戦国末期の天正年間には兵火により堂塔一切を失いましたが、徳川家康公、秀忠公の戒師も勤めた十世了学上人は千姫（天樹院）様の深い帰依を受けて伽藍を再建し、その菩提寺に定められました。その後は紫衣檀林として関東十八檀林の中でも上位に置かれる寺院となり、江戸期を通じて存続しています。

天樹院様の没後にはその御殿が江戸城北の丸から移築され、家康公御神像のほか「紫龍石の硯」や「五条袈裟」などの遺愛の品々と共に安置されました。この壮麗な伽藍は残念ながら明治期の火災により焼失してしまいました。天樹院様がお建て下さった本堂の内陣は残り、今も眼にすることが出来ます。なお、

欄間に掲げられた寺号を記した扁額は、天樹院様直筆と伝えられています。



祐天上人縁の名号桜と本堂



天樹院御廟前に広がる曼珠沙華

編集後記

会報『茨城佛教』第四十四号の発行に際し、各宗派の皆様、協賛企業の皆様には厚く御礼申し上げます。昨年はコロナ禍から日常に戻り、各宗派、寺院において様々な活動が再開されました。お陰様で今回活動報告等、多くの投稿があり、紙面も賑やかとなりました。改めて日常の有り難さを実感しました。改めてさて、今号をもって我々広報部はじめて

茨城県仏教会役員は任期満了となります。会長をはじめ役員者、理事の皆様には寺院運営の傍らで忙しい中、広報委員会にお集まり頂き、忌憚ないご意見、ご助言を賜ったことに心より感謝いたします。来年度から新体制に交代いたしますが、県内寺院の皆様におかれましては引き続き茨城県仏教会へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。 合掌

茨城県仏教会

- 本部（城里町 徳蔵寺）
会長：岸野 教司
住所：東茨城郡城里町徳蔵874番地
電話：0296-88-3037
- 事務局（坂東市 長谷寺）
事務局長：倉持 達哉
住所：坂東市長谷1850-1
電話：0297-36-8255



<https://www.ibaraki-bukkyou.com/>
Mail : info@ibaraki-bukkyou.com